

平成21年度 岩本町ほほえみプラザ 事業計画概要

前年の概況（稼働率は、一二月末現在）

<p>1 サービス向上 ①ほほえみサポート隊 登録64名、延べ 281名 ②第三者評価(9月-3月デイサービス、ショートステイ、グループホーム、ケアハウス)、情報公表(8/2デイサービス、ショートステイ)、法人サービス自己評価・意見交換会(12/19-1/16)、法人監事監査(2/18)、区地域密着事業実施指導(グループホーム・認知症デイ 2/3)</p> <p>2 部署間の連携 食事係・看護係の体制が整い、情報共有・各会議に出席した</p> <p>3 地域交流 鯉のぼり、夕涼み会(7/27)、ラジオ体操(7/26-8/31)、わんわんパーティー(10/18)、いずみこどもプラザゲーム村(11/13)他 運営協議会を2回開催した</p> <p>4 各事業について ①デイサービス(一般30名、認知12名) 一般・認知の利用者に合った活動推進した 稼働率:一般75%、認知60.6% ②ショートステイ(定員20名) 厨房空調工事等もあり、安心・安全を重点に支援した 稼働率:95.2% ③グループホーム(定員9名) 入所基準検討、安心して過ごせる環境を作る 入所2名、退所2名 稼働率:91.8% ④ケアハウス(定員20名) 入所基準の検討、介護予防等への活動参加を呼びかけた 入所4名、退所3名 稼働率:96.9% ⑤健康回復支援ショートステイ 腰痛で支援が必要な人の利用あり。広報の検討要す 実人数3名、延べ37日 ⑥介護予防事業 介護予防教室によりプラザ内及び地域との交流が促進した 特定高齢者:栄養改善教室(参加1名) 一般高齢者:9教室、活動日214日、実人数200人、述べ2138人 介護予防事業発表会(2/15) 参加者38人、内容:各発表教室・講演・交流会</p>	⇒	<p style="text-align: center;">本年重点ポイント</p> <p>平成21年度から平成30年度までの10年間、ほほえみプラザ指定管理者として事業運営するにあたり、今後も地域に必要とされる施設となるようサービス向上に努める。</p> <p>1 地域で一貫したサービス提供が行えるよう、地域包括支援センター、かんだ連雀各事業と連携し情報共有する。</p> <p>2 人材の確保 実習生の受入れ 学校訪問</p> <p>3 人材育成・定着 施設内研修の充実 委員会を通じた自己研鑽</p> <p>4 新規事業の円滑な運営 ほっとサロン 子育てサロン(社協)</p> <p>5 災害を想定した防災訓練の充実 さまざまな想定で訓練を実施し、誰もが現場指揮者となれるようにする</p> <p>6 在宅サービスセンターの医療ニーズについて多職種を交え随時検討する</p>
---	---	---

課題

<p>1 人材確保・育成 ①派遣職員から直接雇用へ ②施設研修の充実 ③OJT</p> <p>2 連雀との連携 ①在宅サービスセンターでの医療ニーズ対応検討 ②地域包括支援センターとの連携・連絡(介護予防、健康回復支援ショートステイ)</p> <p>3 法人共通の課題 「生と老と死」を考える勉強会・研修の開催</p> <p>4 ほほえみサポート隊の充実 ①ほほえみサポート隊の組織化</p> <p>5 防災意識の向上 ①高層ビルに対応した防災訓練の実施 ②地域との連携</p>	⇒	<p style="text-align: center;">全体を通じた考え方</p> <p>法人の理念の下、神田事業所(連雀+岩本)一体となり神田地区の高齢者が安心して安全に暮らせるよう支援していく</p> <p>法人の基本指針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用者へ深い共感をもつ 2 地域の方々に感謝する 3 水、電気などの資源を大切に 4 常に防災を心がけ火を出さないに基づき事業を推進する <p>また、職員個々のチャレンジプランにおいても計画化し、実践し、「ヒトにやさしく」「ヒトを大事にする」心を養う</p>
---	---	--

		対利用者	職員・業務
運営・管理	事務局担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 介護報酬改定の中、法人事務局連携の下、より正確な介護報酬請求等を行う。 2 法人事務局主導により、家族支援システムを本格稼働していく。 3 施設の窓口として、利用者への快いあいさつと親切な対応に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 部署間の協力・連携を強化し、横断的な各種委員会の活性化を図っていく。 2 労働安全衛生委員会とも連動し、勤怠管理を適正に行っていく。
	サービス向上	<ol style="list-style-type: none"> 1 法人サービス評価等の結果を反映したサービスの向上対策を検討する。 2 さまざまな活動を通じた、ふれあいの場と機会を提供する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 研修を充実していく。 2 防災訓練を始め、各種委員会活動等をより充実させていく。
	区民施設等	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域活動等、利用しやすい環境整備を行う。 2 介護予防事業等を通じて、地域住民との交流を促進する。 3 地域の自主活動、区内の企業等社会貢献活動を支援していく。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 区民・利用者との交流を促進していく。 2 地域のマンパワーを活用していく。
センター	デイ・介護予防	<ol style="list-style-type: none"> 1 通所介護(予防通所介護、認知症通所介護)計画に基づいた援助 2 活動プログラムの充実(グループ活動、環境整備、認知症デイとグループホームの合同活動) 3 介護予防事業をPRし活動を促進。地域住民の参加を促す。 4 ほっとサロン(高齢者のサロン)準備(11月事業開始) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 研修等を通じて認知症への理解を深める。同様に介護技術の向上を図り、業務につなげる。 2 「サービス援助の流れ」についての理解を深め業務に活かす。
	健康回復支援SS	<ol style="list-style-type: none"> 1 自立支援を目的に、対象者が利用しやすい仕組みをつくる 2 地域包括支援センターと連携し、総合的な相談が行えるよう支援する 3 広報を充実する 	<ol style="list-style-type: none"> 1 受入窓口の整理をする
ホーム	ケアハウス	<ol style="list-style-type: none"> 1 自立生活維持の為に必要な支援やサービス導入へ早期の対応を行う 2 入居者懇談会を充実する(不安や心配事の解消の場となるよう内容を検討する) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 緊急対応時マニュアルを作成する。 2 ケアハウス独自の個別支援計画書書式を作成する。 3 ケアハウスの役割について理解を深める。
	グループホーム	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者ひとりひとりが有する能力を発揮できるような環境をつくる 2 利用者自らが選択・決定できるような機会を提供する 3 認知症デイとの合同活動プログラムを充実する 4 家族との交流できる活動や外出等、接点を多く設ける 	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者理解のため認知症研修を実施する 2 退居に関する条件整備をする 3 アセスメント方法の見直し・検討を行う
	ショート	<ol style="list-style-type: none"> 1 「ひとりひとりが心地よく過ごせる居場所」を具体化させる 2 利用者が荷物を安心して預けられる仕組みを工夫する 3 利用者の整容(整髪、爪切り、目元や口元の清潔、食べこぼしたままの衣類の交換等)に注力する 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「短期入所生活介護計画」に基づいたサービスの提供を実践する 2 認知症への理解やケアの標準化を進める 3 食事・排泄・入浴をはじめとした業務マニュアルを再編する
連携	看護	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者の健康管理、家族からの情報収集および自宅、施設間の継続した対応 2 感染予防の対策の徹底 3 職員の健康管理 4 認知症の理解 	<ol style="list-style-type: none"> 1 他事業のケース会議の参加および家族との連携作り 2 感染症の研修参加および啓蒙 3 職員の健康管理の相談 4 研修の参加
	食事	<p>「食」の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サービスに合わせた楽しめる食事の提供 ②食事提供方法の見直し 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新規事業への取り組み 2. 人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・担当制の充実 ・新規事業へ向けた体制作り